

## 令和4年度 総会を開催しました

2022年6月14日 於) スイスホテル南海大阪

令和4年6月14日、スイスホテル南海大阪にて総会が開催されました。事業報告と今年度の事業計画が満場一致で承認され、令和4年度の事業がスタートしました。今後の事業運営につきましても、発足のころに掲げてまいりました「芸人を育て、よりよき鑑賞者を育てる」の理念を守り、新しい事業の発展に取り組んでまいります。



総会で挨拶をする小野幸親会長

### 【第2部】記念公演 ～NJ-trad 津軽三味線&篠笛&和太鼓&舞～

第2部では、音の羽(坂上 享さん、大谷 加奈子さん)による津軽三味線、篠笛、和太鼓の演奏と、實川 ふうさんによる舞のコラボレーションで、独創的な演舞を鑑賞させていただきました。力強い和太鼓の音とリズムに篠笛、津軽三味線の繊細な音色、そして幻想的な舞は美しく、会場の皆様と感動のシーンを共有することができました。



NJ-tradの皆さん

## 9年ぶり! 「3D落語」を開催しました!

2022年4月16日 於) 住吉神社・住吉大社吉祥殿



桂阿か枝師匠



久保利子さんが境内を案内してくださいました

協議会で人気の催し「3D落語」が9年ぶりに開催されました! 今回の会場は住吉大社。毎年初詣ではたくさんの参拝客が訪れる大阪人にはおなじみの「住吉っさん」で、まずは境内を散策しました。

広い境内の中、住吉大社のシンボルとも言える反橋を渡った後、代表的な本宮を参拝し、名所を巡りました。散策の後は、住吉大社吉祥殿にて落語を一席、桂阿か枝師匠を「明石の間」(お名前に由来があるとか)にお招きし、落語「住吉駕籠」を楽しみました。住吉っさんの参詣帰りの客を当て込んで客待ちする新米の籠屋の噺。たっぷり歩いて落語を楽しんで。久しぶりの3D落語、次回も楽しみです。



反橋で記念撮影

### ご寄稿文



学生の頃、夕食後の実家のリビングで。さっきケンカしていた両親がテレビを見ながら笑っている……。その頃から笑いの力を日常でも意識するようになりました。その後ご縁をいただき吉本興業へ入社。15分間の本番に費やされる膨大な努力と計算と時間を間近で感じさせてもらいました。漫才も落語も、テレビで見るのとは異なる舞台での魅力。ネタ合わせに費やした時間にその場のお客様が織りなす空気が加わって、毎回異なるアドリブや即興、微妙な間の変化は生だからこそ。その輝く駆け引きを感じると今でもワクワクします。しかし意外と大阪の人でも生の舞台を見たことがない人が多いと聞き、とても「もったいない」と思います。

関西演芸推進協議会の「上質な上方演芸・文化の継承と普及を支援し、併せてより善き鑑賞者を育て盛り上げる活動」に関わることができて幸せです。

ミナミのラジオ YES-fm 78.1MHz 放送局長代理 久保利子



## 笑学 (しょうがく) 漫才のワークショップでボケとツッコミ体感!

いつも「コミュニケーションってどういうことだと思う?」という問いかけからスタートする笑学ワークショップ。子ども達は一生懸命に考え、自分なりの答えを発表してくれます。会話のキャッチボールの楽しさは、プロの漫才を生で見て体感。目をキラキラさせ、大笑いをしながらたくさんのお話を吸収してくれています。そして、次は自分が漫才にチャレンジしてみる!毎回ドキドキワクワクを大切に、あっという間の45分です。自分の感情を感じ、言葉や体を使って表現する。自分の考えをしっかりと相手に伝える。そして相手を思いやり、笑いを会話に取り入れていくことの大切さを知る。漫才という演芸だからこそ共有できる楽しい時間が、子ども達の心を動かしていきます。リアルなコミュニケーションが制限された2020年。こんな時だからこそ、ユーモアと笑顔で関わることを伝える「笑学」を早く届けに行きたいなあ〜と願っています。

進行役 安田 ゆき



笑学ワークショップの様子

主催: NPO法人関西演芸推進協議会  
協力: 相互タクシー(株)、(株)小学館集英社プロダクション、千房(株)  
会: 安田 ゆき  
対象: 大阪府下の小学校(募集中※応募校多数の場合は抽選にて決定)

## ホームページがリニューアルされました!!

協議会のこれまでの歩みもぎっしり詰まったウェブサイトができました。

令和4年9月に、HPがリニューアルされました。関西の演芸文化の伝統的イメージと、現代の情報発信システムの洗練性を融合させるカタチで、素敵なサイトに生まれ変わりました。スマートフォンでもスムーズに見いただけます。「お気に入り登録」もお忘れなく!

公式ウェブサイト <https://www.walive.org>

関西演芸推進協議会

検索



**編集後記** 今号では、9年ぶりに開催された「3D落語」開催の報告がありました。落語の面白さは、噺のリズムや間、扇子をお着に見立てて使ったり、音を立てて場を切り替えたりと、ひとりの噺家が何役も演じ、また、効果音まで演出します。上方、江戸の違いはあれど、どちらも実在した昔の風景を蘇らせるほどの面白さに感銘します。人生半世紀を過ぎた今、大阪万博の光景をうつつらと思い出しながら、近い将来に開催される大阪万博に想いを馳せて、未来の人が歴史の風景を蘇らせてくれるような時代をつくってくれるといいなあと思ったりしています。(編集部 廣田)



NPO法人関西演芸推進協議会 会報誌

# 笑ライヴ 第31号

walive

「笑ライヴ」とは…

「笑」、「商」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の思いから名称にしました。

2022年12月

【発行】  
NPO法人関西演芸推進協議会 編集部  
＜事務局＞  
大阪市浪速区湊町2-2-45  
オンテックス難波ビル7F  
(千房株式会社内)  
TEL.06-6633-1430  
FAX.06-6633-1435  
<https://www.walive.org>  
info@walive.org

### INFOMATION

いつも当協議会へのご理解、ご協力をいただき、会員の皆さまには厚く御礼申し上げます。この2年、悩まされてきたコロナ禍も、感染者の増減が心配されますが、日常生活の行動は落ち着きつつあるように思います。当協議会の活動においても、一昨年より昨年、昨年よりも今年と、少しずつ活動も活発に行えるようになりました。また10月には「第11回関西演芸しゃべくり大賞」を開催。年々参加者の熱意やレベルも高まり、一層の発展が期待されます。これもひとえに皆様のお力添え、ご協力の賜物です。これからも「関西の『演芸文化・伝統文化』継承のための活動」をサポートしてまいりたいと思います。どうぞ皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

### CONTENTS

- ☆第11回「特別記念」関西演芸しゃべくり話芸大賞開催 ……2・3頁
- ☆総会・公演開催 ……2・3頁
- ☆3D落語開催 ……2・3頁
- ☆「会員紹介コーナー」久保利子さん ……2・3頁
- ☆「笑学」 ……4頁

## 道頓堀リバーフェスティバル第11回関西演芸しゃべくり話芸大賞

# 「ヘッドライト」がグランプリ受賞!!

続きは次項で紹介しています▶



# 道頓堀リバーフェスティバル 第11回「関西演芸しゃべくり話芸大賞」開催

審査委員長  
大池 晶 (漫才作家)

審査員  
林 千代 (シナリオライター)  
本多 正識 (漫才作家)  
乾 龍介 (フリーアナウンサー)  
中井 政嗣 (関西演芸推進協議会専務理事) <順不同>

予選 2022年9月17日(土)・18日(日)  
於道頓堀ZAZA POCKET'S

優勝決定戦 2022年10月15日(土)  
於YES THEATER



グランプリ  
ヘッドライト



準グランプリ  
パーティーパーティー

第11回関西演芸しゃべくり話芸大賞の予選が9月17日(土)・18日(日)に道頓堀ZAZA POCKET'Sにて開催されました。過去最大の248組がエントリー、2日に亘り大熱戦が繰り広げられました。連日たくさんのお客様が来場され、出演者の熱気とお客様の笑いで会場は盛り上がりを見せました。何よりレベルの高い話芸の中から10組を選ぶことに悩まれる予選会となり、厳選の上、決勝進出者が選出されました。

優勝決定戦は10月15日(土)、YES THEATERにて開催。開場前からたくさんのお客様が列を作ってお待ちになる程、決戦への注目度の高まりを感じました。今回は会場の運営会社である株式会社滋慶 代表取締役 田仲豊徳さんに開会のご挨拶をいただきました。審査員のご紹介、本会に協賛いただいている企業の懸賞幕の披露という式次第で開会式が行われました。さらに、出番を決める恒例の「紐くじ」。出演の順番も出演者にとっては大きく影響することから、芸人らしく笑いを誘いながらも、はじめの真剣勝負です！そんなオープニングを経て、くじの順に10組のしゃべくり話芸の熱戦は、どの組がグランプリになってもおかしくないほどハイレベルでしたが、見事にグランプリを受賞したのは「ヘッドライト」。第10回大会で準グランプリを受賞したものの、「今回こそは」という熱い気持ちが結果につながったのかもしれませんが。準グランプリには「パーティーパーティー」が選ばれ、見事な10組の競演となりました。審査委員長の大池晶先生の講評をはじめ、審査員の先生方のご感想も高評価のお声が聞けて、今日までの準備や様々な方面での手配などに奔走されるなど大会運営に携わった皆様も、満足いただける内容だったのではないかと思います。11年に亘り続けられた今大会。確実に実績を積み続けることで、この舞台から関西を代表する芸人が誕生することを期待します。

ご来場くださいました皆様、ご支援くださいました皆様には心より感謝申し上げます。より一層、笑いで心を豊かにできるよう、これからも大会の運営に励んでまいりたいと思います。(大会実行委員長 鈴木彦文)

## 決勝進出者他8組



アンビシャス エジソン ツートライブ 天才ピアニスト



ファンファーレと熱狂 マグリット 丸亀じゃんご 吉田たち



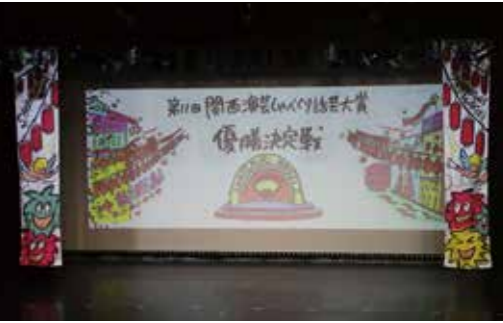
競演の後は全員笑顔で記念撮影



開会のご挨拶は株式会社滋慶 代表取締役 田仲豊徳社長



出番を決める恒例の紐くじ



千秋育子さんのイラストによる舞台映像とタペストリー

今回も児童養護施設の子供たちと先生をお招きしました。観戦中の子供たちの大きな笑い声は1組目から会場に響きわたり、決勝進出者もその笑い声に励まされたように思います。大きな笑い声と拍手が場を温めることを子どもたちから改めて教えられたように思います。また、閉会の締め括りには、来場者の皆様と一緒に「大阪締め」で御手を拝借！会場を丸にまとめ、第11回の幕を閉じました。

## スペシャルゲスト「NJ-trad」

審査を待つ間、NJ-tradの演舞と和楽器のコラボレーションをお楽しみいただきました。6月の総会での公演から、さらに舞台での演出が加わり、美しく独創的なゲスト公演を鑑賞させていただきました。



結果発表後、講評される大池晶審査委員長



会場の皆さんと一緒に「大阪締め」で閉会

## 奨励賞受賞者3組



タナからイケダ よふかしイエロー 爛々

## 「web受付・動画部門」のエントリーも実施しました

協議会はコロナをきっかけとして昨年からスタートさせた「Web受付」「動画部門」も実施しました。しゃべくり話芸大賞web受付では、スマホやパソコンから登録でき、利用者も増えてきました。残念ながら受賞者はありませんでしたが、時代背景や観戦スタイルの変化に伴って、参加するスタイルや、舞台と違う面白さなどに発展することに期待します。